

令和5年7月5日

釜石市議会議長 木村琳蔵 様

会派名 令和クラブ

報告者 佐々木聡



会派視察報告書

会派所属議員による行政視察研修を下記のとおり実施しましたので、報告いたします。

1 研修内容 「地域福祉とまちづくりin東京」

・現代社会における地域福祉の課題や住民と行政の協働による新しい地域の可能性

講師:東洋大学教授 山本美香氏

・「生きづらさ」からコミュニティづくりへ

講師:武庫川女子大学教授 松端克文氏

2 視察日程: 令和5年5月11日(木)~12日(金)

3 参加者: 菊池 秀明、佐々木 聡

4 研修日時: 令和5年5月12日(金) 10:00~14:45

5 視察に取り上げた理由

高齢化率4割である釜石市にとって「地域福祉とまちづくり」は重要案件であり地域住民のニーズにあった福祉行政の構築と政策提言につなげる必要があると考えた。

6 所感

セミナーの内容に生きづらさについて極端に強い自己責任意識と極端に低い自己肯定感との指摘があった。

責任感が強い事は人として望ましい事であり逆に無責任な者は社会を構成する上で摩擦や問題となるものだ。

また低い自己肯定感は何故植え付けられたのだろうと考えれば特定の活動家や政治家が同類のメディアを利用し何らかの意図をもって世論工作に励んだ事は否めない。

福祉とまちづくりとは、そこに住む人がどんなまちにしたいのかどんな将来を想い描くのかにつきると考える。

議会と行政は市民を主役にした市民中心のまちづくりに徹した上で市民の才能を含める釜石の資源が眠らない活力循環のまちを目指すべきである。